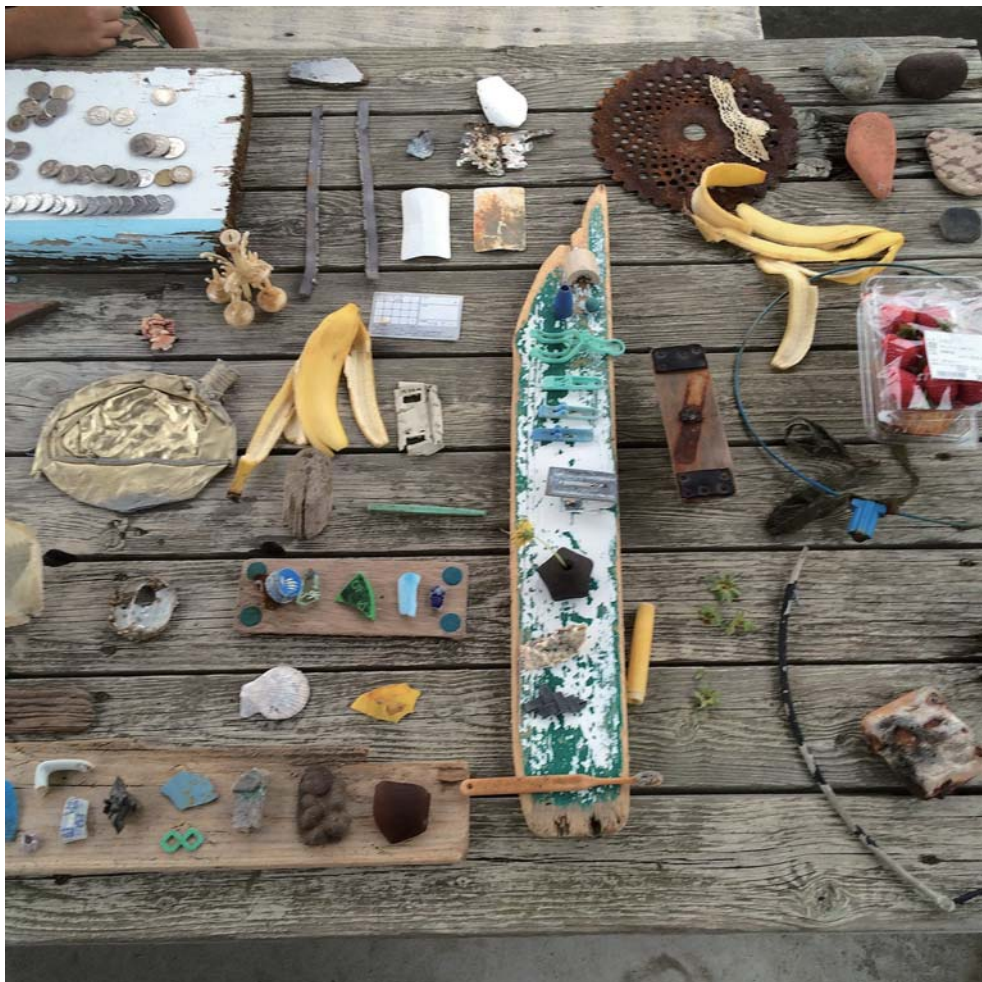


夏のオープンラボ

SUMMER OPEN LAB



夏のオープンラボ：

新しい骨董

NEW ANTIQUE

2018.7.14sat - 9.17mon

開館時間：10時～17時 休館日：月曜日。ただし、7.16(月・祝)、8.6(月)、9.17(月・祝)は開館、7.17(火)、8.7(火)は休館。

会場：地下1階ミュージアムスタジオ

広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

新しい骨董

NEW ANTIQUE

「新しい骨董」は、山下陽光(ファッションブランド「途中でやめる」主宰、1977-)、下道基行(アーティスト、1978-)、影山裕樹(編集者、1982-)の3名による、実験的な活動を行うグループです。街中や、インターネット上に溢れる「“新しい骨董”ともいうべき何か」の探索や実践を通して、新しい価値、新しい美を探究しています。
<http://atarashiikotto.com>

本企画では、そんな彼らによる、自由(すぎる)研究が繰り広げられます。

Motoyuki Shitamichi

下道基行

1978年、岡山生まれ。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。写真や文章を表現手段に、モノ/コトの残り方/消え方や、目の前に広がる風景の在り方に興味を持ち、旅やフィールドワークをベースに、数多くの展示や出版等で表現を続けている。愛知県名古屋市長在任。

Hikaru Yamashita

山下陽光

1977年、長崎生まれ。高円寺の古着屋「素人の乱シランプリ」元店主。「途中でやめる」という名の服を発表するかたわら、戦後原爆ドームの前に出来たアトム書房の調査など、インターネットに転がるユニークな情報を探り、現代に接続する様々な活動を行なっている。福岡県福岡市長在任。

Yuki Kageyama

影山裕樹

1982年、東京生まれ。雑誌編集部、出版社勤務後フリーに。数々のアート&カルチャー書の出版プロデュース・編集を行う傍ら、近年は各地の芸術祭やアートプロジェクトに編集者として関わっている。著書に「大人が作る秘密基地」など。合同会社千十一編集室代表。東京都豊島区在住。

●表の写真:「新しい骨董市」2016年

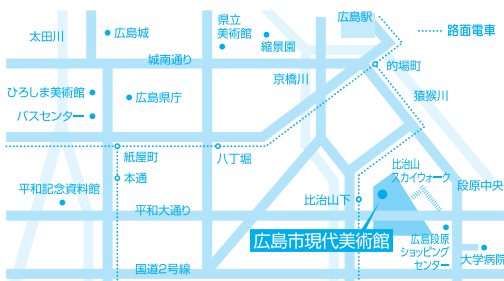
…自分で拾ったゴミのような宝物のような存在を、色や形や意味や色々と、並べ方を考えて並べると、なんだか魔法がかかったように見えてくる。何かの欠片に別の価値が見ついたように、見た人も少し欲しくなる。この“骨董遊び”は、最高に楽しい。価値と物の考え方が交差する体験。さらに物々交換をすると交換した物は元の物の場所に置くとなんだか居心地が悪く、また

並べ替えが起こり、机の上はどんどんと変化し続ける。これは物々交換をやって見えた部分。あと、今回のように、子どもと大人が混ざって「新しい骨董市」の物々交換を行なう時、子どもたちはすぐ盛り上がり、それを後ろで見ていたり参加した大人の中でも価値観の揺らぎが起こる、それは非常に面白い。…

—「新しい骨董」ウェブサイトより(2016年5月29日)

夏のオープンラボ

「夏のオープンラボ」は多彩な表現活動について様々な方法による紹介を試み、美術館活動の可能性を探る、当館における実験場としての企画です。



広島市現代美術館

Tel.082-264-1121

732-0815 広島市南区比治山公園1-1

<https://www.hiroshima-moca.jp>

Facebook・Twitterは **Hiroshima MOCA** で検索



[駐車のご案内] 美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください。①比治山公園内(約120台分、無料、利用時間 9:00~19:00)②広島段原ショッピングセンター駐車場(1階サービスカウンターへ当館の入館証明提示で当日に限り3時間無料)